

生命倫理学

英 文 名 : Bioethics

科 目 概 要 : 動物資源科学科3年後期 [金曜日2・3・4・5時限]、3群科目、選択、講義、2単位(30時間)

担 当 者 : (※は科目責任者) ※齋藤 有紀子

講 義 室 : 113講義室

授業の目的	生命に向き合い、多様な価値観の人間・社会で働く専門職になるために、自らの言葉で考え、継続的に生命観・倫理観・死生観を育んでいく力を身につける。 動物・人間・環境をめぐる困難な倫理問題について、問題を抽出し、さまざまな立場の人とコミュニケーションしながら、提示された課題に積極的に取り組む姿勢を身につける。
-------	---

授業内容(シラバス)

回	項目	内容	担当者
1	ガイダンス	オリエンテーション	齋藤 有紀子
2	いのちをめぐる課題1	問題抽出、論点整理、意見交換、傾聴、課題解決の演習	齋藤 有紀子
3	1日目のふりかえり	レポート作成	齋藤 有紀子
4	いのちをめぐる課題2	問題抽出、論点整理、意見交換、傾聴、課題解決の演習	齋藤 有紀子
5	映像資料鑑賞	関連資料検討・関連映像鑑賞	齋藤 有紀子
6	ディスカッション	スモールグループディスカッション	齋藤 有紀子
7	2日目のふりかえり	レポート作成	齋藤 有紀子
8	命をめぐる課題3	問題抽出、論点整理、意見交換、傾聴、課題解決の演習	齋藤 有紀子
9	映像資料鑑賞	関連資料検討・関連映像鑑賞	齋藤 有紀子
10	ディスカッション	スモールグループディスカッション	齋藤 有紀子
11	3日目のふりかえり	レポート作成	齋藤 有紀子
12	発表準備1	成果発表会準備	齋藤 有紀子
13	発表準備2	成果発表会準備	齋藤 有紀子
14	学習成果発表	学習成果発表会	齋藤 有紀子
15	全体のふりかえり	レポート作成	齋藤 有紀子

到達目標	生命に向き合う専門職に必要な‘倫理的思考’を身につける。 社会の中のさまざまな意見に出会ったとき、自分の中で問題を整理し、考えることができる。 相手の立場を理解し、相手の立場に立って物事を考えることの意義と、その難しさについて、説明することができる。
評価方法	評価は毎回のレポートで判定する(moodleに提出)。授業への積極的な参加は加点対象とする。
準備学習等 (予習・復習)	特に予習は必要としないが、授業開始前に各自の生命に対する倫理観について考えてみる。授業後は、授業中の相互学習等で得た様々な考え方を基に、レポートや報告会の発表等で理解を深めるように努力すること。
その他 注意等	倫理的な問題を考えることは、とても興味深いことです。それは、他者や自分について考え、社会・環境・自然、生命の営みに思いを馳せる時間になるからです。結論を急がず、むしろ、当然視していたことを一度リセットし、自分の中の‘揺れる’気持ちと向き合ってみる。そのことの楽しさと、難しさに、講義への参加を通して気づいてもらえればと思います。

種別	書名	著者・編者	発行所
教科書	未定		
参考書	未定		